

平成22年4月30日

平成22年度観光圏整備実施計画の認定に伴う認定書交付について

北陸信越運輸局企画観光部
観光地域振興課

観光庁では、観光立国の実現に向けて、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を促進するため、「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」(平成20年法律第39号)に基づき、複数の観光地が連携して2泊3日以上滞る型観光を目指す「観光圏」の形成を促進しているところです。



今般、国土交通大臣は、同法第8条に基づき、平成22年度より整備をはじめた観光圏として、新たに15地域の観光圏整備実施計画の認定を行いました。これで、全国45地域が観光圏として認定されたことになります。

この内、北陸信越運輸局管内では、「トキめき佐渡・にいがた観光圏」(新潟県新潟市・佐渡市)、「越中・飛騨観光圏」(富山県:射水市、小矢部市、高岡市、砺波市、南砺市、氷見市、岐阜県:高山市、飛騨市、白川村)、「立山黒部アルペンルート広域観光圏」(富山県立山町・長野県大町市)の3地域が新たに認定され、30日に北陸信越運輸局後藤局長より、認定書の交付を当運輸局において行いました。

既に認定済みの「雪国観光圏」「富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏」「能登半島観光圏」と東北運輸局主管の「日本海きらきら羽越観光圏」及び関東運輸局主管の「八ヶ岳観光圏」を合わせると、北陸信越地域の観光圏は計8地域ということになります。

(下の案件図に掲載しております。)

認定書交付については、最初に「トキめき佐渡・にいがた観光圏」に対して、新潟市の篠田市長及び佐渡市の高野市長に交付し、続いて、「越中・飛騨観光圏」「立山黒部アルペンルート広域観光圏」に対して、高岡市林副市長及び立山町舟崎副町長にそれぞれ交付いたしました。

後藤局長からは、今後それぞれの圏域で関係者が連携し、滞在促進に向けた取り組みの、一層の推進への期待を表明し、それを受け、各観光圏からは、記者の質問に対する回答も含めて以下のような発言がありました。

(新潟市:篠田市長)

・この観光圏は、新潟市のみならず町文化・田園文化として、田植えが始まると美田が広がる景観のすばらしい地域である一方、都市型の観光地でもある。また、佐渡も文化、大自然のすばらしい地域であり、この両市が連携して、お互いのすばらしさを知ってもらおう、国内外での競争力のある観光地として発信していきたい。



(佐渡市:高野市長)

・この観光圏をどのように理解していただけるかが重要と考えており、

ニーズは日々変わり、海外のニーズにも対応し、喜んでもらわなければならない。トキや自然環境も含め、観光としてどう組み合わせができるか、新潟市と連携を密にして取り組みたい。

・離島のイメージで来た人には、あまりにも広く感じる。二次交通が重要と考えており、自転車も手頃であり、周遊できる島づくりを目指したい。

・世界遺産も着実に進めたい。また、糸魚川に倣ってジオパークの申請も検討したい。

(高岡市:林副市長)

越中飛騨観光圏は、多様性を持ったものであり、ブラッシュアップし、リピーターを増やして行きたい。山、海、景観、食、祭りなどをキーワードに、バラバラでなく、どう纏めて行くかが課題である。行政や観光協会の視点で考えているところがあるが、訪れる方がどう過ごして貰うかの視点で考えていく必要がある。また、十分に応えて行くことが出来るかである。あとインバウンドを考えた時にネットワークが重要と考えている。



これまで富山県西部地域での取り組みを、飛騨地域を含めた面的な取り組みとしていくため、二次交通の充実を図るなどの取組が重要と考えている。

特に、観光資源はバラエティーに富んでいるので、積極的な取組みにより充実させていく所存であり、運輸局の指導を今後ともお願いしたい。

(立山町:舟崎副町長)

立山黒部アルペンルートは、年間100万人を超える観光客が訪れる観光ルートであり、4月30日には、称名滝まで開通したところである。今後とも多くが訪れるルートとなるよう努力したい。

協議会は、大町市をはじめ7団体で取り組むこととしているが、今後、滞在型を目指して取り組んで行きたい。現状は、2市町で取り組んでいる状況であるが、更に先を目指して取り組んでいく。

2市町では、キャパシティーに限界があり、富山市等と連携を強めて行く。立山信仰をはじめとしているいろいろなイベントが数多くあり、多くの観光客が訪れており、今後、立山カルデラについて、世界遺産の登録を目指した取組を行うこととしている。

大町市と連携を強化し、観光圏の充実に努めていくので、一層の指導をお願いしたい。

今後運輸局としても各地域と連携し、更なる観光活性化に向けた滞在促進のための取り組みを支援していきます。



【北陸信越運輸局管内 観光圏整備実施計画認定地域(8地域)】

(平成22年4月28日現在)

